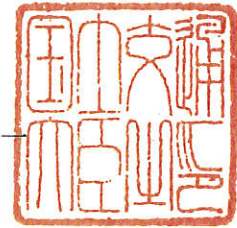


# 認定書

国住指第 209 号  
令和元年 5 月 24 日

株式会社テツヤ・ジャパン  
代表取締役 木村 哲哉 様

国土交通大臣 石井 啓一



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 46 条第 4 項表一の（八）の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号  
FRM-0654
2. 認定をした構造方法等の名称  
厚 12mm ロシア白樺耐水合板張り／太め鉄丸くぎ CN65／外周部@100mm、中通り@200mm／大壁造の直張り仕様／木造軸組耐力壁における構造方法
3. 認定をした構造方法等の内容  
4.1 の倍率を有する軸組と同等以上の耐力を有する軸組別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

## 1. 構造方法の名称

厚 12mm ロシア白樺耐水合板張り／太め鉄丸くぎ CN65／外周部@100mm、中通り@200mm／大壁造の直張り仕様／木造軸組耐力壁

## 2. 構造の概要

## (1) 面材等の概要

## a) 面材の名称

ロシア白樺耐水合板 (以下、面材と記す)

## b) 材料構成及び品質

イ) 樹種：シラカバ

## ロ) 仕様

- ・品質：CE マーク表示製品 (規格 EN 13986:2004+A1:2015)
- ・記号：EN 636-2, S (用途区分 2, 構造区分 S)  
(規格 EN 636:2012+A1:2015)
- ・グレード：ロシアンバーチ B/BB (規格 SyPly™ハンドブック※)
- ・耐水性：WBP (規格 SyPly™ハンドブック※)
- ・表面品質：S2 (規格 SyPly™ハンドブック※)
- ・製造所：Syktyvkar Plywood Mill ltd. (ロシア連邦)  
注) ※：Syktyvkar Plywood Mill ltd. の社内規格

## ハ) 積層数：9層

## c) 寸法及び許容差

	幅 (mm)	長さ (mm)	厚さ (mm)
寸法	910, 1000	1820, 2000	12
許容差	-3~+0	-3~+0	-0.7~+0.5

対角線の長さの差が 3mm 以下であること。

## d) 受け入れ時の品質の基準

性能：

含水率：14%以下 (試験方法：合板の日本農林規格[平成 30 年 3 月 29 日農林水産省告示 683 号]の含水率試験)

曲げ強度：0° 方向 26.0N/mm<sup>2</sup>以上, 90° 方向 20.0N/mm<sup>2</sup>以上 (試験方法：合板の日本農林規格[平成 30 年 3 月 29 日農林水産省告示 683 号]の 1 級の曲げ試験)

曲げヤング率：0° 方向 5.5×10<sup>3</sup>N/mm<sup>2</sup>以上, 90° 方向 3.5×10<sup>3</sup>N/mm<sup>2</sup>以上 (試験方法：合板の日本農林規格[平成 30 年 3 月 29 日農林水産省告示 683 号]の 1 級の曲げ試験)

面内せん断強さ：3.2N/mm<sup>2</sup>以上 (試験方法：合板の日本農林規格[平成 30 年 3 月 29 日農林水産省告示 683 号]の面内せん断試験)

接着の程度：接着剤層のせん断強さが  $1\text{N}/\text{mm}^2$  以上であること（試験方法：合板の日本農林規格[平成 30 年 3 月 29 日農林水産省告示 683 号]のスチーミング繰返し試験）

外観：

断面の品質：側面及び木口面に厚さ方向 2mm 以上、長さ方向 50mm 以上の隙間がないこと。

## (2) 軸組等の仕様

部 位	寸 法 等	
柱、土台	断面寸法	見付 105mm 以上×見込 105mm 以上
胴差、桁、梁	断面寸法	見付 105mm 以上×見込 105mm 以上
継手間柱	断面寸法	見付 90mm 以上×見込 60mm 以上
間柱	断面寸法	見付 30mm 以上×見込 60mm 以上
胴つなぎ	断面寸法	見付 90mm 以上×見込 60mm 以上
面材の継手となる柱の間隔		1820mm 以上 2000mm 以下
面材の継手となる継手間柱と柱の間隔		910mm 以上 1000mm 以下
間柱と柱又は継手間柱の間隔		455mm 以上 500mm 以下
柱に取り付く横架材間の内法寸法		2400mm 以上 2850mm 以下

## (3) 接合具の仕様

JIS A 5508 : 2009（くぎ）に規定された CN65（太め鉄丸くぎ）

## (4) その他の仕様

特になし。

## 3. 耐力壁の適用範囲

- (1) 当該パネルを取り付けた耐力壁の適用範囲は、建築基準法施行令第 40 条から第 49 条（ただし、第 48 条第 2 項は除く。）に準拠した木造軸組とする。
- (2) 当該耐力壁は、外周壁の屋外側下地材、室内側下地材・仕上げ材及び内部壁の下地材・仕上げ材に用いるものとする。当該耐力壁を外周壁の屋外側下地材として用いる場合は、防水紙その他適切な防水措置を講じるものとする。
- (3) 当該耐力壁を建築基準法施行令第 46 条第 4 項表 1 に定める軸組又は昭和 56 年建設省告示第 1100 号に定める軸組を併用する場合は、5 を限度としてそれぞれの倍率を加算できるものとする。

## 4. 耐力壁の施工仕様の概要

### (1) 軸組材

- ①柱、土台の断面寸法は見付 105mm 以上×見込 105mm 以上とする。
- ②胴差、桁、梁の断面寸法は見付 105mm 以上×見込 105mm 以上とする。
- ③面材の横方向の継手となる継手間柱の断面寸法は見付 90mm 以上×見込 60mm 以上とする。
- ④間柱の断面寸法は見付 30mm 以上×見込 60mm 以上とする。

- ⑤面材の縦方向の継手となる胴つなぎの断面寸法は見付 90mm 以上×見込 60mm 以上とする。面材が取り付く胴つなぎは、横架材間に1か所とする。
- ⑥面材の継手となる柱の間隔は 1820mm 以上 2000mm 以下、面材の継手となる継手間柱と柱の間隔は 910mm 以上 1000mm 以下、間柱と柱又は継手間柱の間隔は 455mm 以上 500mm 以下とする。
- ⑦横架材間の内法寸法は 2400mm 以上 2850mm 以下とする。

## (2) 面材の割付

- ①面材は軸組に直張りとし、張り方は横架材間に胴つなぎを設けて2枚の板で同じ方向に縦継ぎ張りとする。ただし、下側の面材の高さは幅 910mm の場合が 1820mm、幅 1000mm の場合が 2000mm とし、上側の面材の最小高さは幅 910mm の場合が 680mm、幅 1000mm の場合が 500mm とする。

## (3) 面材の留め付け

- ①面材は、太め鉄丸くぎ CN65(JIS A 5508 : 2009)を用いて、面材の外周部をくぎ相互の間隔 100mm 以下で柱、土台、横架材、胴つなぎに、面材の中通りの部分ではくぎ相互の間隔を 200mm 以下で間柱に留め付ける。
- ②面材の継手部は縦方向および横方向とも突き付け又は 1mm 以下の隙間を設ける。
- ③面材の柱、土台および横架材への掛かり代は 50mm 以上、胴つなぎおよび継手間柱への掛かり代は 40mm 以上とする。
- ④くぎが有効に作用するように、面材端部とくぎの距離（へりあき距離）は 20mm（許容差±3mm）とする。
- ⑤面材の外周部及び中通りの部分におけるくぎ本数について、面材の長手方向及び短手方向の辺長(H、L)からへりあき距離(H1+H2、L1+L2)を減じた長さ(H-(H1+H2)、L-(L1+L2))を算出し、その長さを各部のくぎ間隔(P、Q)で除する。外周部のくぎ本数はその値の小数第一位を切り上げて1を加えた値とし、中通りの部分のくぎ本数はその値の小数第一位を切り上げて1を減じた値とする。なお、図1に示す通り、面材四隅のくぎは長手・短手両方向のくぎ本数として数えることとするが、中通りの部分と外周部のくぎを結ぶ直線上のくぎは、中通りの部分のくぎ本数として数えないものとする。また、くぎ本数一覧を表1に示す。ここで、Lは910mmから1000mmのいずれかの値、Hは耐力壁の施工仕様に応じた下側もしくは上側の面材の長さの値、H1及びH2は20mm、L1もしくはL2については、柱、継手間柱部では20mm、Pは100mm、Qは200mmとする。
- ⑥くぎ留めは、面材にくぎ留め位置をマーキング等した後に留め付ける。
- ⑦くぎは、面材表面に面一になるように留め付ける。

## (4) その他の施工仕様

特になし。

## (5) 施工図

施工図を図2.1～図2.3に示す。

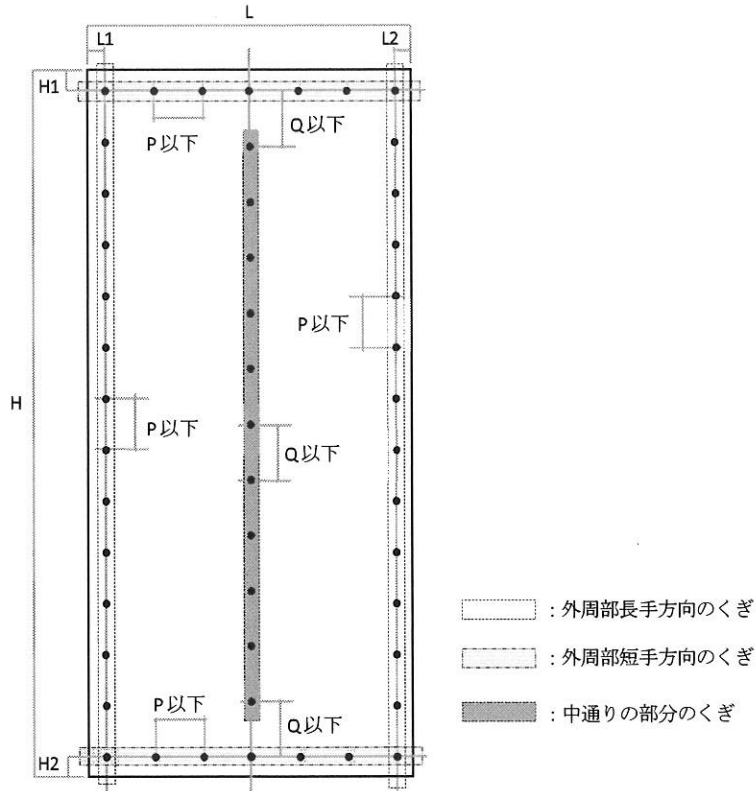


図1 各部のくぎ本数

表1 くぎ本数一覧

項目	仕様						
面材と軸組	種類	くぎCN65 (JIS A 5508 : 2009)					
	間隔	外周部間隔	100mm	以下			
		中通り間隔	200mm	以下			
		面材長辺からの縁端距離	柱位置	20mm			
		面材短辺からの縁端距離	胴つなぎ位置	20mm			
			横架材位置	20mm			
	本数	面材外周部 短手方向長さ	910mm	以上	940mm	以下	10本
			940mm	以上	1000mm	以下	11本
		面材外周部 長手方向長さ					
		縦継ぎ張りの上側面材	500mm	以上	540mm	以下	6本
			540mm	以上	640mm	以下	7本
			640mm	以上	740mm	以下	8本
			740mm	以上	840mm	以下	9本
			840mm	以上	940mm	以下	10本
			940mm	以上	1040mm	以下	11本
			1040mm	以上	1130mm	以下	12本
		縦継ぎ張りの下側面材	1820mm				19本
			2000mm				21本
		面材中通り 長手方向長さ					
		縦継ぎ張りの上側面材	500mm	以上	640mm	以下	2本 又は 3本
		640mm	以上	840mm	以下	3本 又は 4本	
		840mm	以上	1040mm	以下	4本 又は 5本	
		1040mm	以上	1130mm	以下	5本 又は 6本	
	縦継ぎ張りの下側面材	1820mm				8本 又は 9本	
		2000mm				9本 又は 10本	

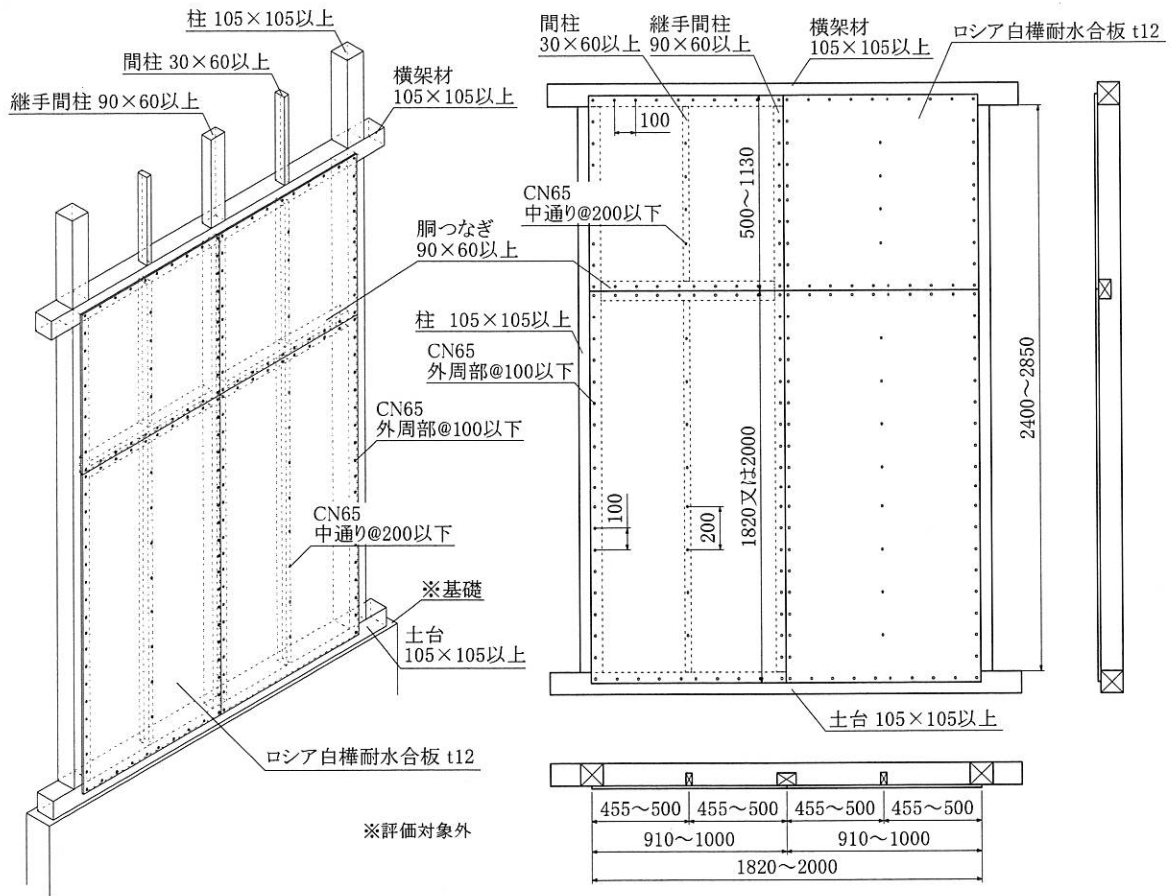


図 2.1 施工図 (寸法単位 : mm)

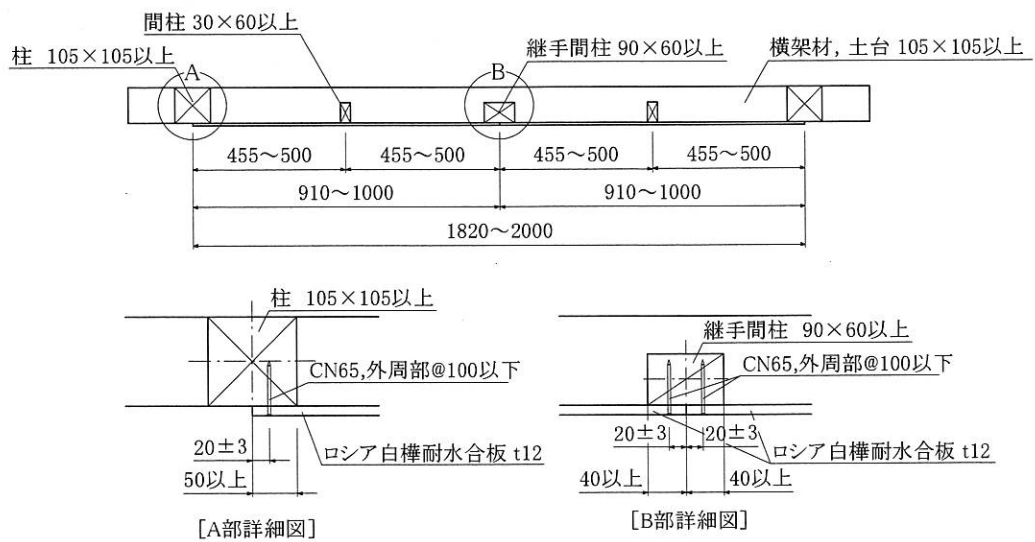


図 2.2 施工図 [水平断面] (寸法単位 : mm)

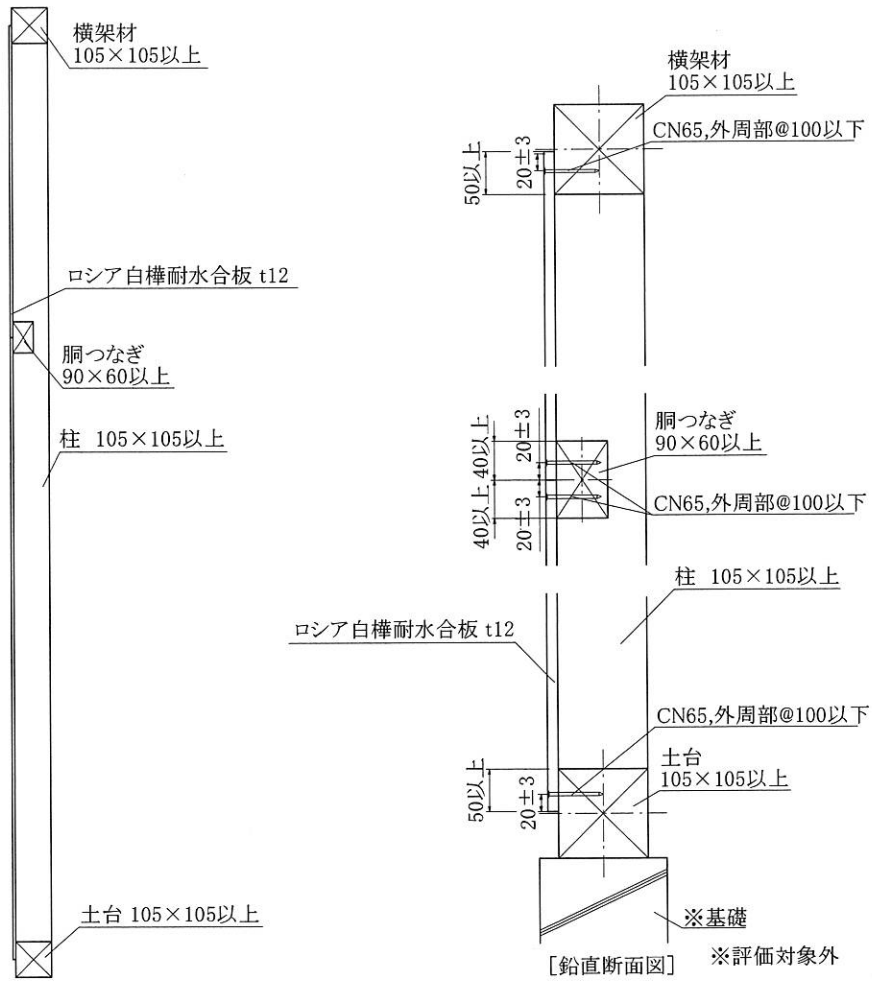


図 2.3 施工図 [鉛直断面] (寸法単位 : mm)